

フットボールスタジアム検討協議会 第3回会議 会議概要

1 会議の概要

日 時：令和8年7月26日（日）14:00～16:00

場 所：岡山県庁3階 大会議室

出席者：上林座長、池田委員、西明寺委員、佐古委員、服部委員、堀委員、
松田欣也委員、松田正己委員、森井委員

2 議 事

スタジアムの必要性及びありたい姿に係る自由討議

資料のとおり、事務局から次の事項を報告及び説明

- （1）フットボールスタジアムの整備に関する県民アンケート調査
結果（速報）
- （2）参考事例
- （3）動員数分析

3 議事要旨

報告事項等を踏まえ、委員間で議論を行った。

スタジアムの必要性及びありたい姿に係る自由討議に関する委員からの主な意見は次のとおり。

【全般】

- 本検討協議会は、スタジアム新設を求める50万筆の署名を背景に発足したものであるため、新設と改修の選択肢を並列で検討するというよりは、スタジアム新設の具体的な内容や実現方法を議論するべきだ。
- 既存スタジアムの改修を支持する県民にとっても納得感のある形で検討を進める必要がある。
- スタジアムの本質的な価値は、シビックプライドの醸成をはじめとした社会的価値の創出にあると考える。また、アウェイツーリズムなどを通じた経済的な波及効果も期待される。これらの価値を、サッカーに関心が無い層に対しても伝える必要がある。一方、資金的にも持続可能な建設・運営を可能にするために、PPP/PFIによる民間活力の活用が求められる。岡山県でも、スタジアムほどの大規模施設ではないものの公共施設

においてPFI手法を活用した実績がある。

- ファジアーノ岡山だけではなく、アマチュア利用も含めたスポーツ振興の観点からもスタジアムの新設が重要である。
- アクセスという観点からは、車による来場を前提にすると渋滞が発生するため、主要駅近辺にスタジアムを新設することが望ましい。
- アウェイツーリズムや、多くの人が集える場所に整備すべきという公共性の観点からも、まちなかの立地が期待される。
- まちづくりの全体像や、まちづくりとスタジアムの関係性について行政が明確に提示することで、民間事業者も投資を判断しやすくなる。
- サッカーのスタジアム内に子育て施設などの公共機能を併設することで、公共性を保ったまま民間が施設を運営することが可能になる。また、スタジアムをせっかく新設するのであれば、地域のシンボルになるような、県民が自信をもって人を呼べるようなスタジアムが望ましい。
- フットボールスタジアムの整備は、競技施設にとどまらず、スポーツ振興や地域活性化、交流人口の拡大などを通じて岡山の未来を支える社会資本として議論すべきである。そのため、建設の是非だけでなく、多機能な活用や持続可能な運営、民間活力の導入などにより県民利益を最大化し、将来世代に過度な負担を残さない計画とすることが重要である。
- 立地によって条件や課題が異なるため、具体的な候補地を事務局から明示していただくことによって、スタジアムの新設や改修についてより有意義に議論を進められる。スタジアムが有ると無いとでは都市の格がちがう。都市間競争が激しくなる中で、岡山には人が集まりやすい基盤があるので中核となる施設があってもよい。
- 具体的な候補地やそれぞれの候補地におけるスタジアム新設の経済効果などの基本的な構想は、事務局側にて整理していただくと、検討協議会の中で議論を進めやすくなる。
- 多様なイベントが実施されることで、子ども世代をスタジアムに連れて

いく動機が生まれるため、多目的に利用される施設がより望ましい。併せて、パウダールームや子どもの休憩スペースの確保、試合観戦以外にも楽しむことができる飲食などの複合機能化により、女性や子どもも含めた幅広い層にとって魅力的な施設となる。また、官民連携手法を導入した際に、官の負担が大きく見えたり、逆に事業を実施する民間事業者だけが利益を得ているように見えたりしないように留意する必要がある。

【県民アンケート調査結果（速報）】

- 互いに対立し合う意見が見られる論点について、双方が納得できる解決策を提案できるよう検討していく必要がある。アンケートのクロス集計などによって属性ごとの意見の傾向を踏まえることにより、目指すべきスタジアム像が明確になると思料する。
- 今回の県民アンケート結果は、県民の意見が集約的に整理された大変重要な資料であり、様々な意見があるが、対立とはとらえていない。また、社会的効果を求める意見が多く、岡山はもっと活気のある地域になれるとの県民の期待がある。様々な回答の背景にある思いや価値観を検討協議会の中で踏まえつつ、スタジアムのあるべき姿について議論を進めていく必要がある。
- 県民アンケートの結果について、真新しい意見が出たわけではないものの、今後県民意見を踏まえて議論を進めていく上で重要なデータであると認識している。また、この結果をどのように活用していくか、県民に対して明示する必要がある。
- 様々な年代の意見を得ることができた今回の県民アンケートは非常に有用だ。また、スタジアムだけではなく地域課題なども含めた岡山県のあり方についても意見が得られており、その意味でも重要なデータである。
- 県民アンケートの結果から抽出された今後の検討事項の中でも、特に重要なものを絞り込んで議論を進めることで、検討を加速させる必要がある。

【参考事例】

- 岡山県と他の自治体では事情が大きく異なるため、現段階では、岡山県外の事例から参考にすることができる部分はそれほど多くない。